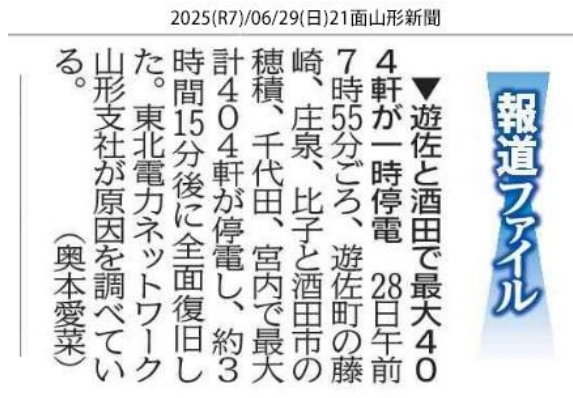


図－1、時々、停電発生^{なす}の報道がある。下図の場合は原因を調査中で終わっている。突然の電気（電力）の供給支障事故（停電事故）は、言うまでもなく社会機能に甚大な悪影響を及ぼす。図－2のとおり^{なす}のJR列車トラブルの比ではない。

よく春先に聞くのがカラス営巣を原因とする停電事故報道であるが、御社（山形新聞）の記者は電力会社から垂れ流される「カラス営巣が原因」を鵜呑みにしてそこで思考が止まっていないか？

電力設備は、「電気設備に関する技術基準を定める省令」があって、その遵守を求められ、公衆安全確保や供給維持のための観点から厳しい設備形成を強いられている。この省令を踏まえた場合、カラス営巣のごときであれほどの迷惑をかけることに安々と納得するのか？ 「カラス営巣が原因」で簡単に片付けられるのか？ 停電事故が発生した場合は、電力会社の一方的な原因発表を真に受けず、法令遵守有無の視点から深く追及すべきである。



図－1



図－2

JR 東日本にしても、半導体^{なす}に擦り付けようとしているが半導体製造ミスだろうか。発注側としてのJR の設計は問題なかったのか。いや、真の原因はその半導体の人為的セットミスではなかったのか？

私には信用し難い点がある。JR を含めてだが、設備産業においては、とにかく、作業ミス、いわゆる人為的ミス、ヒューマンエラーを鳥獣や自然界の気象現象にすり替える捏造手法を取る可能性大なるものがあるので騙されてはならないのである。電力会社や JR 等の大手企業は企業倫理が徹底していて優秀な社員、立派な企業風土などと性善説的に評価するのは昨今の世情に鑑みては浅薄というもの。数年前には我が国モノづくり優等生のトヨタをはじめ自動車製造企業がこぞって検査不正事件を起こしたではないか。

このような様々な社会トラブルが生じた時は、表層の報道機関発表にごまかされないで真実・真相追及の姿勢を強く持って貫きたいものである。

(end)